



No Book No Life

No.1 / 2021年4月

図書室の本の貸し出し期限と冊数が変更しました。

貸し出し期限は**2週間**(14日)から**3週間**(21日)に、

貸し出し冊数の上限は**5冊**から**10冊**に、変わりました。

一度に多く借りるのもよし、じっくりと読み込むのもよし。

ぜひ、たくさんの本を読んでください!!

今年度の図書館だよりのタイトルは、「NO Book No Life」になりました。これは図書委員会で出た高生生の読書の量が少ないという問題を改善すべく名付けました。タイトルの通り「読書無くて人生無し」だと思うので、図書室にあまり来ない皆さんも図書室にきて本を読み、高生らしく教養を高めてより充実した生活を送ってほしいと思います。

☆☆転入された先生方5名のおススメ本紹介☆☆



小林智宏校長

『戦争と平和』トルストイ (岩波文庫)

ロシアの人々とナポレオンとの戦争を描いた長編小説。4つの貴族の家庭を中心に、歴史上の著名人から幾多の無名人まで数限りない人々が登場。圧倒的なスケールで様々な事件が展開します。歴史は少数の英雄や為政者によってつくられるのではない。この世に人間が完全に幸福で自由である状態はないが、完全に不幸で自由のない状態もない。抗しがたい大きな時代の流れの中にあっても、一人一人にかけがえのない人生の意味がある。実に様々なことを考えさせられます。全6冊。読後の感動間違いなし。高校時代に大著と呼ばれるものを一つでも読破してください。深く記憶に残り、人生の糧となるでしょう。

数学 岡田一輝先生

『コンビニ人間』村田沙耶香(文春文庫)

芥川賞で知り、タイトルに惹かれて購入しました。今は前任校に置いてあります。主人公がコンビニ店員という「居場所」を見つけ、そこでの様々な出来事を通して、自己を振り返っていく作品です。多様性を認めることは大切なことですが、その一方で言葉以上に難しい側面もあります。自分自身の生き方や現代社会の難しさについて考えさせられる一冊だと思います。



理科 岡田直之先生 『ガー・レイノルズ シンプルプレゼン』ガー・レイノルズ著、



日経ビジネスアソシエ編

高校生による科学の研究成果発表会に参加したときのことです。ある1人の高校生のプレゼンを見て衝撃を受けました。彼のプレゼンはまるで有名な故スティーブ・ジョブズ氏のプレゼンのようでした。プレゼンを学び直したい。そんなときこの本に出会いました。特に付属のDVDがすごいです。ジョブズのようなプレゼンがしたい人は是非！

体育 小澤朋克先生 「スマホ脳」アンデシュ・ハンセン（新潮新書）

我々の生活に欠かせない便利なスマホですが、つきあい方を考えさせられる一冊です。コロナ禍では、情報入手や SNS 等のコミュニケーションツールとして手放せないものとなりました。しかし、メール通知が来るたびに締め切りに追われストレスを感じます。1日のうちに何時間もスマホを使うことで、睡眠時間が減ったり、視力低下したり、食欲を増進させ肥満の原因になることもあるそうです。勉強が手につかなくなったりストレスを感じたりしたときはスマホではなく、運動することをお勧めします。



家庭 中野英子先生 / 『おやすみなさいおつきさま』マーガレット・ワイズ・ブラウン



皆さんが生まれた頃、オバマ大統領（当時）が“人生最初の一冊”とし、雅子妃が“思い出の宝物”とされている絵本として話題になったので、読み聞かせをしてもらった人も多いでしょう。もし機会があったら、一度読み返してほしい。幼い頃、大人に包まれ安心した記憶がよみがえるだろうし、青年期の今だからこそ、別の発見もあるはず。「大きな緑の部屋」が次第に薄暗くなっていく頃、一日の気持ちのリセットができるおすすめの一冊です。

（編集：1204 有澤）